

表① CO₂の削減にチャレンジ

〈資料…家庭の省エネ大事典2009 (財)省エネルギーセンター〉

チャレンジ項目	削減効果(年間)	
	CO ₂ 量	節約金額
●使っていない家電のコンセントを抜く	60.0kg	3,400円
●テレビ(液晶タイプ)の時間を1日1時間短縮する	6.8kg	330円
●パソコン(ノート型)の時間を1日1時間短縮する	2.5kg	120円
●冷房の温度を1℃高く(28℃を目安)設定する	13.7kg	670円
●暖房の温度を1℃低く(20℃を目安)設定する	24.0kg	1,170円
●家族が同じ部屋でだんらんして過ごす	238.0kg	10,400円
●冷蔵庫の中にものを詰め込み過ぎない	19.9kg	960円
●下ごしらえに電子レンジを使用(葉野菜の場合)	13.0kg	1,000円
●白熱電球から、消費電力の少ないLED電球に取り換える	26.0kg	1,450円
●蛍光灯(1灯)をつける時間を1時間短縮	2.0kg	100円
●シャワーで流す時間を1分短縮(ガス+水道)	29.1kg	2,980円
●便座暖房の温度を低く(中→弱)	12.0kg	580円
●買い物袋を持参し、包装が少ないものを選んで購入	58.0kg	840円
●ペットボトルや缶、牛乳パックをリサイクルに回す	19.0kg	315円
●週1回車を使わず、徒歩や自転車で買い物に行く	48.0kg	2,496円
●自動車に乗るとき、アイドリングを1日5分やめる	40.2kg	2,040円
●ふんわりアクセル「eスタート」	194.0kg	9,860円

立石山から見た芥屋。糸島の豊かな自然を守るために、省エネ生活を始めませんか



電気の使用量を抑えることで、発電時に発生するCO₂を少しでも減らすことができます。CO₂などの温室効果ガスは、地球温暖化に悪影響を及ぼしているといわれ(図①)、これらの発生を抑え、少しでも減らしていくための取り組みが地球規模で求められています。

市役所の取り組みで発生

が抑えられるCO₂は、ほんのわずかな量かもしれませんが、みんなが取り組みれば大きな力になるのです。

ストップ温暖化

温暖化が進むと、海流の変化などに伴う海面上昇や生態系の変化、異常気象による農作物の壊滅的な被害、自然災害の多発、被害の深刻化など、さまざまな問題が起こるといわれています。

温暖化の要因といわれる大気中のCO₂は、石油や電気など、エネルギーの使用量の増加に比例して増加しています。これは、私たちの生活様式の変化に深く関係しています。

これ以上、温暖化を進めないためには、これまでのライフスタイルやビジネススタイルを見直し、自然に負荷のかからない生活を意識し、一人ひとりが実践していくことが求められます。

環境に優しい行動を心がけ、豊かな糸島の自然を未来につなげるため、一人ひとりがCO₂削減の取り組み(表①)を意識し、実行していく必要があるのです。

環境家計簿でエコ生活

一般家庭から排出されるCO₂は、年間およそ5200kgといわれています。このうち約4割が電気。発電に使う化石燃料が大量のCO₂を排出しています。

快適な生活を電化製品に求めれば求めるほど、使用される電気の量は増加し、大気中に排出されるCO₂が増えていきます。

日ごろの生活の中で、できるだけ節電を心がけ、賢く電気を使うことは、家計に良いことはもちろん、CO₂の排出を抑え、ひいては、地球温暖化を防ぐことにもなります。

その取り組みの一つが「環境家計簿」で、ノートタイプとホームページの2種類のタイプがあります。

あなたも環境家計簿をつけ、日ごろの生活スタイルを振り返り、省エネを意識した「エコ生活」を始めてみませんか。

配布場所
糸島市生活環境課 窓口
ホームページ
ふくおかエコライフ応援サイト
<http://www.ecofukuoka.jp/>

いとしまの自然にやさしく…エコ・ライフを始めよう

チャレンジ 省エネ生活

7月7日(水)『ライトダウン・キャンペーン』に参加しよう

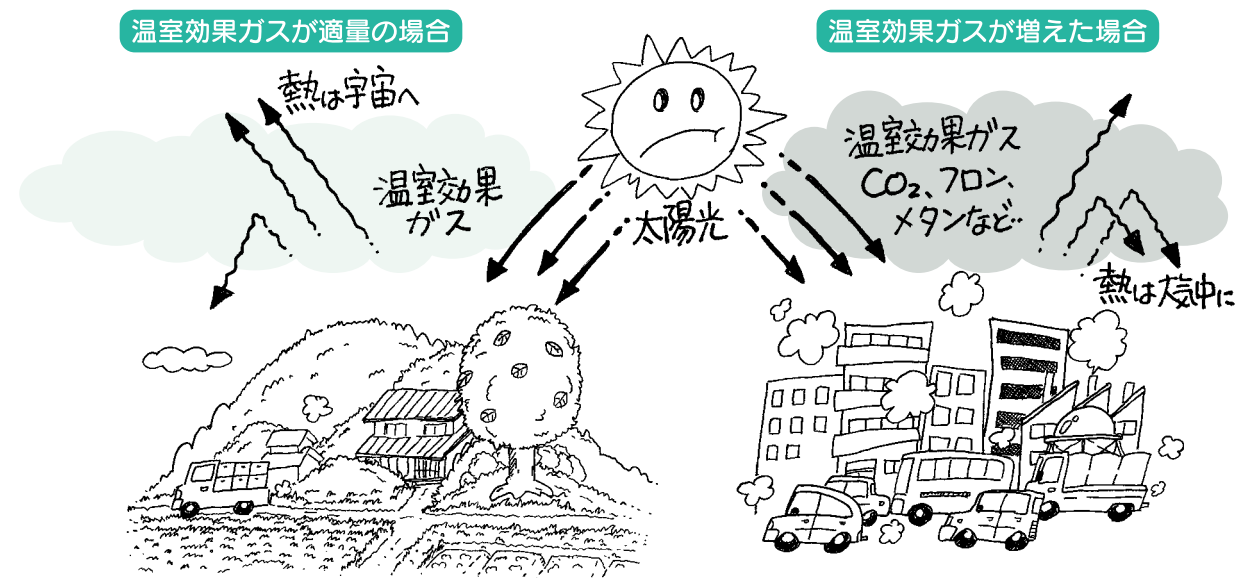
梅雨末期……じめじめとうっとうしい日が続きます。糸島弁で表現すると「もうらしか」。最大に「もうらしか」ことを「えぐりもうらしか」と言います。こういう日は、思わずエアコンのスイッチに手が伸びてしまうもの。でもちょっと待ってください。快適を求め過ぎる生活は、自然環境に悪影響を及ぼします。今、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの削減が叫ばれています。エアコンのスイッチを入れる前に、涼しさを感じる工夫をすることもたいせつです。

なぜ、省エネが必要

市役所の夏の冷房温度は28℃に設定されています。そのため、暑くても少しでも快適に過ごせるよう、職員はノーネクタイのエコスタイルで仕事をしています。

冷房の設定温度を高め設定することで、電気料の軽減につながることはもちろん、

図① 温暖化の原因の一つはCO₂



エネルギーの大半は、石油や石炭などの化石燃料を燃焼することで得られます。しかしこれに伴って、大気中にCO₂(二酸化炭素)が排出されます。エネルギーの大量消費でこのCO₂濃度が上昇し、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に封じ込められる温室効果が進み、地球が温暖化しているといわれています。